

令和8年度地域特性やまちづくりを踏まえた持続可能な地域交通構築事業業務委託に係る公募型プロポーザルにおける質問への回答

番号	質問	回答
1	共同提案時には、企画提案申請書（様式3）に記載する名称および押印について、どのようにすれば良いでしょうか。 ①幹事者の名称・押印 ②コンソーシアム名称と、幹事者の名称・押印 ③コンソーシアム名称と、幹事者および構成員の各社の名称・押印 ④その他	②のとおりお願いします。
2	応募資格に反しない旨の宣誓書（様式4）は、幹事者および構成員がそれぞれ1枚ずつ作成・提出でよろしいでしょうか。	幹事者および構成員がそれぞれ1枚ずつ作成し、幹事者に取りまとめて提出してください。 ただし、和歌山県物品の購入、役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格（業務種目大分類が企画・広告・手配）を有する者については、「和歌山県物品の購入、役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格決定通知書」の写しを提出することにより省略することができます。
3	参加意向申出書（共同提案）（様式2-2）（様式2-2 別紙）は押印不要でしょうか。	押印不要です。
4	共同提案時におけるプレゼンテーション参加人数について、共同提案者全体で合計3名まででしょうか、各社ごとに3名まで可能でしょうか。【対象資料】実施要領「エ 注意事項」の「②プレゼンテーションの参加人数は、1事業者あたり3名までとする。」	共同提案者全体で合計3名までとします。
5	企画提案書のページ上限、様式指定（フォント、余白、図表可否）はございますか。	指定ありません。
6	県・市町村が提供可能な既存データ（交通、人口、施設、計画等）の具体的なリスト、提供可否、提供時期について想定がございましたらご教示ください。	現時点で提供可能なデータの具体的なリストは用意していません。提供可能なデータはないものとして準備してください。
7	交通事業者が必要データを保有していない場合に想定される「実地調査等による計測・集計」について、最低要件（対象路線・回数・期間・時間帯・方法等）の想定がございましたらご教示ください。	最低要件の具体的な想定はありません。 提案者は、仕様書5(3)の分析目的を踏まえ、必要となる実地調査について自ら設計・提案してください。
8	「県職員同行で1回以上は30市町村を訪問」の想定（全市町村を同行で訪問する想定か、一部でも可か、オンライン代替可否等）がございましたらご教示ください。	県職員同行で1回は30市町村を訪問することを必須とし、オンラインによる代替は不可とします。
9	有識者意見聴取（3回程度）について、有識者の選定方法、謝金の費用負担（委託費に含むか否か等）のご想定をご教示ください。	有識者の選定方法は提案者に委ねます。謝金等は本業務委託費に含めて見積もってください。
10	講習等（1回以上）の実施目的と開催方法（Webも可能か否か、会場費等の費用負担等）のご想定をご教示ください。	実施目的は、事業の趣旨共有および関係者間の認識合わせを行うキックオフ的な役割を想定しています。 また、開催方法については、対面開催を想定していますが、Wwbによる開催も可とします。対面開催の場合は会場費等も見積りに含めてください。
11	アンケート等の実施について、想定件数、アンケートの発送回収方法の想定がございましたらご教示ください。	地域における交通課題を抽出するために必要な手法や回数等についてはご提案ください。
12	ヒアリング・調査対象の範囲について、「交通事業者等」の必須範囲の想定がございましたらご教示ください。	仕様書5(2)から(4)を踏まえ、必要な手法や回数等についてはご提案ください。